

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年9月15日

施設名	高知県立月見山こどもの森	所管課名	林業振興・環境部 環境共生課
-----	--------------	------	----------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成24年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日
施設所在地	香南市香我美町岸本、香南市夜須町坪井(管理事務所:香南市香我美町岸本1269-7)		
事業内容	<p>1. 月見山こどもの森における行為及び利用の許可等、行為及び利用の許可の取消し等その他の許可に関すること</p> <p>2. 月見山こどもの森の施設、設備等の維持管理に関すること</p> <p>3. 月見山こどもの森の設置目的※を達成するための活用事業の企画及び運営に関すること ※設置目的:「自然の中での野外活動を通じ、児童、生徒等の健全な心身の育成を図るため」(高知県立月見山こどもの森の設置及び管理に関する条例第1条)</p> <p>4. 月見山こどもの森の利用促進に関すること</p> <p><主な利用目的等></p> <p>①アスレチック、展望台、すべり山、桜等の花見、自然を楽しむ</p> <p>②アスレチック等の遊びの指導及びクラフトの指導</p> <p>③木工教室、クラフト教室等のイベントの実施</p> <p>④「出前森林教室」を学校等へ出向き実施</p>		
	<p>○ 面積・施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><概要>郷土の雄大な自然の中で、子どもたちが自由に遊んだり、ふだん学校や家庭で得ることのできないものを体験し、たくましく、心豊かに育つことを願い、昭和54年の国際児童年を記念して、月見山に、昭和55年10月に開設された。</p> <p><敷地面積>約20ha</p> <p><主なゾーン>史跡の森・つどいの森・花木の森・わんぱくの森・自然の森</p> <p><主要建物等>こどもの森ハウス(管理事務所)、駐車場3ヶ所 約150台、展望休憩所、休憩所、炊事棟、便所5棟</p> <p><主な施設・設備>アスレチックコース(木製遊具)、グリーンアドベンチャーコース(40種類の樹木名の看板)、すべり山、キャンプ場(芝生1,500㎡・テントサイトのみ)、展望台、ミニ8ヶ所巡りコース</p> <p><開園時間>午前8時30分~午後5時15分</p> <p><休園日>12月29日~1月3日</p> <p><利用料金>無料</p> <p><キャンプ場利用料金>無料</p> <p><ハウス使用料>無料</p> <p><イベント参加料金>材料代(実費額相当)を徴収する場合があります</p>		
職員体制	常勤職員:2人 (但し、イベント開催時等には、人員体制を確保するため臨時職員を雇用。)		

2 収支の状況

※県支出金のうち3,558千円は香南市からの受託事業収入(27年度は見込み) 単位:千円

		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
収入	県支出金	7,260	7,437	8,331
	参加料収入等	334	199	160
	収入計 (a)	7,594	7,636	8,491
支出	事業費	82	74	110
	管理運営費	1,309	1,613	1,661
	人件費	6,025	5,807	6,720
	支出計 (b)	7,416	7,494	8,491

3 利用状況

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	17,103	16,136	23,000
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) (団体の来園者) 打ち合わせ・問い合わせの際に利用案内や冊子等を渡し、または送付し、事前に意見等を聞き、できる限り要望に沿った対応をするよう努めている。</p> <p>(一般の来園者) 初めての利用者には、職員が直接出向いてアスレチックのコース図やグリーンアドベンチャーの案内図等を渡し、施設等の説明を行っている。また、事務所にもアンケートを設置して、意見を記入していただき、集約している。 (イベント等で団体が施設を利用した場合) 終了後に意見を聞き、事後の運営に反映させている。 (「出前森林教室」開催の場合) ・職員の日程や経費を調整し、できる限り要望に応じている。 ・広報の配布と同時にアンケートを配って記入していただき、利用者ニーズの把握に役立っている。</p>		
③その他特記事項	<p>幼児からお年寄りまで、来園者は全てお客様として対応し、利用者が楽しく利用できるように努めている。</p>		

4 平成26年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①管理運営に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・園内は、道が歩きやすく、子どもが自然に親しむための施設としては管理がよくできている。また、子どもたちが少しでも木に直接触れることのできるよう努力している魅力的な施設である。 ・遊具等は定期的に日常点検ができています。継続して安全確保に努めていただきたい。 ・職員の方が熱意あり、きめ細やかな対応がよくできています。今後もその状況を活かしていただきたい。 ・毎年親子の迷子が出ることについて重く受け止めていただき、今後、再発防止の為、危機管理上の対策をしっかりとっていただきたい。 ・ホームページをこまめに更新し、情報誌等と併せて活用し、外部への情報発信をもう少し積極的に行っていただきたい。 ・利用者のニーズの把握等の工夫が更に必要である。
②事業の実施に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア団体の協力も得て人員確保に努め、事業実施に取り組まれている。 ・出前教室の実施回数が5分の1に減少している。計画に無理がなかったか再度見直し、今後は魅力ある内容に努め、学校関係等へも積極的にアプローチするなど工夫をしていただきたい。 ・待ちの姿勢になることなく、積極的に自分たちから発信してほしい。外部から利用者をどう取り込むか、リピーターを増やしたり、新たな開拓をするなど工夫が必要である。 ・地域のボランティア団体も高齢化しているため、次に代わる団体やサークルなどのボランティアを育成する必要がある。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の減少に対する原因と分析をしっかりとされている。 ・遊具、遊歩道等の改修工事のため利用者数が減少している。情報発信を積極的に行い、他の施設との情報共有や連携を工夫するなど、利用者数を伸ばしていただきたい。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・支出は適正にできている。 ・収入は、収入予定額の51%となり、目標と大幅に開きがある。原因を分析し、今後の対策を検討していただきたい。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の迷子について、今後は危機管理上の対策をし、再発防止に努めていただきたい。 ・事業実績について、計画を立てた場合は実行に向けて努力をし、計画倒れにならないよう工夫してほしい。 ・評価にあたり、総合的、専門の見地から様々な項目を見て判断した。今回の評価を課題として改善していき、今後素晴らしい施設になっていくことを期待する。
	B

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの